

第5次八戸市総合計画後期推進計画策定委員会
第4回「自治基盤の整備プロジェクト部会」 議事概要

日 時：平成22年10月1日（金）13:00～14:15

場 所：八戸市公会堂文化ホール 1階 講義室

出席者：委員4名（佐藤勝俊部会長、月舘淳子副部会長、立花正志委員、川村暁子委員）

事務局：政策推進課（工藤広域調整GL、高橋主査）

庁内検討ワーキングチーム関係16課（南郷区役所企画総務課、南郷区役所農林建設課、市民連携推進課、広報統計課、まちづくり文化推進室、防災危機管理課、総務情報管理室、行政改革推進課、人事課、情報システム課、財政課、管財契約課、住民税課、収納課、市民課、道路建設課、社会教育課）

要 旨：第5次八戸市総合計画後期推進計画の戦略プロジェクト最終案について、原案からの変更点等を確認しながら、その内容について検討した。

結果として、最終案の方向性は概ね部会の了解を得たが、一部、修正を要する記載内容や、付帯意見等について意見が出された。

内 容：

1 開会

2 部会長あいさつ

3 報告案件

①後期推進計画（原案）の修正状況について（部会資料7）

②八戸市都市研究検討会からの提案について（部会資料8）

4 審議案件

①パブリックコメント等への対応について（部会資料9）

②付帯意見について（部会資料10）

・事務局から一通り資料を説明した後、後期推進計画最終案の内容を検討した。

～以下、意見交換内容～

<パブリックコメント等への対応について>

- ・パブリックコメントについては、意見提出がなぜ無かったかについて検討し、今後、市民に積極的に参加してもらい、意見を吸い上げる方法を検討すべきである
- ・相談員等を利用して、市民の意見を拾い上げるなど取り組んだほうがよいのではないかと
→ 相談件数・内容については把握し、対応の方向について、所管する市民相談グループで指示している
- ・都市研究検討会の提案内容に挙げられている各論的な具体策は、対応する戦略プロジェクトに振り分けられているが、具体の提案内容が、それぞれの施策に含まれているわけでは

ないと思う。提案された各論自体はどう活かされるのか？

→ 計画には具体の事業内容は載らないが、当然、事業実施段階では、提案の中身を参考に検討することになると思う

- ・ 都市研究検討会の提案2の追加内容には、リサイクルの視点を踏まえるとあるが、日本語の「リサイクル」という言葉は幅が広い。本当の意味でのリサイクルなのか、それともリユースを指すのか、整理する必要がある
- ・ また、提案2と提案4の区別についても整理する必要がある。振興方策に重複するところがあるので、これらと一緒にするほうがいいのではないか。また、提案4には林業の活性化も追加するとあるが、エネルギーと環境に関係するという点では、林業は提案2に入るべき。振興するという点では、提案4に水産業も入るべき
- ・ 都市研究検討会のスタッフにも、こういう意見があったということをお伝えいただきたい

<付帯意見について>

- ・ これを挙げること自体はいいと思うが、実際はこういうことを踏まえてやっていると思われる。それでもあえて挙げるとすれば、これだけではなく、挙げるべきことは他にもっとあると思う
 - 付帯意見の位置付けについて。今回の五ヶ年の計画の中では反映されていなくても、中長期的に検討すべきことを付帯意見として整理してほしい、という趣旨である
- ・ 前年度より改善されたとか、他都市と比べて八戸市はいい、との説明はよく聞く。ではもともとの予算の立て方や目標の立て方が今の時代に合っているかという、それは違う。初年度を基準とするのではなく、常に何か新しいことをしていくには、ゼロベースの積み上げで考える必要がある
- ・ 費用対効果という言葉に抵抗がある。費用はともかく、効果は目に見えない、数字に表せないものもある。行政の効果の設定の仕方について、疑問に思うこともある。やっていることの意味、効果は別のところにあるということ、付帯意見として言いたい
 - 単に他都市との比較をするだけでなく、次の行政サービスにどう反映できるかを明確に打ち出していかなければならないと意識しており、意見は最大限尊重したいと思うが、具体的な取組み内容はまだ研究段階にある
- ・ 取組みが見えてこないから意見が出てきたのだと考える。現段階で明確にこれをするとは言えないという現状にあるのであれば、ここに注力していくべしとの付帯意見としていいのではないか
- ・ 効果の表し方については、数字の根拠がよくわからないことが多い。どういう計算をするとういう効果が期待されるのか、というところを納得出来るような提案をしてほしい。これについては、全市的な仕組みを作っていないと、頑張っているところは頑張っている、全体には浸透しない

<その他>

- ・ 最終案 p.154「八戸市総合計画策定に向けた市民アンケート調査結果」は平成17年度実施のものであり、資料としては古い。例えば同頁の注目指標をグラフ化することで代えられるのではないか
- ・ 同 P.155「見回りなど地域防犯活動参加状況」も同様。平成22年度市民アンケート調査の間24をグラフ化することで代えられるのではないか

- ・ 同 P.158「災害に対して安全なまちの形成満足度」も同様。例えば同頁の注目指標をグラフ化することで代えられるのではないか
→ 差替えられる内容であれば差替えることとする